

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆8月消費者心理、4カ月連続改善 基調判断「持ち直しの動き」維持

・内閣府が発表した8月の消費動向調査で、消費者態度指数（2人以上世帯、季節調整値）は前月より0.6ポイント高い35.5となった。上昇は4カ月連続。基調判断は「持ち直しの動きがみられる」を維持。コメ価格が一定程度落ち着きを見せるなど、物価上昇の一服感が消費マインドの改善につながったとみられる。

◆4～6月の需給ギャップ、プラス0.7%に 年率4兆円の需要超過

・内閣府は日本経済の需要と供給の差を表す需給ギャップが4～6月期はプラス0.7%だったとの推計結果を公表。24年10～12月期から7四半期連続のプラスとなり、年換算で4兆円の需要超過となった。8月17日に公表した4～6月期の国内総生産（GDP）速報値をもとに試算。1～3月期のプラス0.5%に比べ需要超過の度合いが強まった。

◆ガソリン補助継続に6160億円 予備費の支出を閣議決定

・政府はレギュラーガソリンの店頭価格を1リットルあたり170円程度に抑える補助金などの継続に向け、2026年度の予備費から6160億円を支出することを閣議決定。中東情勢の悪化で燃油価格は高止まりしており、物価高対策を継続。26年度補正予算で確保した2兆5000億円の中東情勢等対応予備費から出す。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆4～6月法人企業、設備投資1.6%増 6四半期連続プラス

・財務省が発表した4～6月期の法人企業統計によると、全産業（金融・保険業除く）のソフトウェアを含む設備投資は前年同期比で1.6%増の13兆250億円。6四半期連続のプラス。季節調整済みの前期比でみると、設備投資は1.5%増で2四半期ぶりのプラス。非製造業は前年同期比で4.7%増。サービス業や物品賃貸業が全体を押し上げた。

◆25年度の住宅設備機器市場、3.3%増の2.1兆円——矢野経済研

・矢野経済研究所が公表した「住宅設備機器市場に関する調査」結果によると、2025年度の主要住宅設備機器の市場規模は、前年度比3.3%増の2兆1097億5000万円になると推計。2030年度は25年度比8.1%増の2兆2802億円まで拡大すると予測した。再エネ設備設置義務化などを背景に創エネ関連設備機器が高い伸び率を示し、市場全体をけん引。

◆「フラット35」9月の最低金利3.46%、2カ月連続上昇

・住宅金融支援機構は住宅ローン「フラット35」取扱金融機関が適用する9月の融資金利を発表。返済期間21年以上35年以下の最低金利は、融資率9割以下が3.46%、9割超が3.57%と、いずれも前月から0.17ポイント上がり、2カ月連続で上昇した。最高金利は、9割以下が5.69%、9割超が5.80%と、前月から0.12ポイント上昇した。

《 注目商品 》

■トーヨーキッチンスタイル、パラレロシンク搭載のゼロ動線キッチン

・76cm四方の大型シンクに、まな板とマルチプレートを標準装備し、シンク内で調理を完結できるパラレロシンク搭載のキッチン。調理台が不要となり、シンクとコンロの距離を近づけることで、動かずに調理ができる。扉は水面の美しさを表現した鏡面仕上げ。



■シャープ、統合AIサービス「NIAH」に対応したプラズマクラスター加湿空気清浄機

・AIエージェント「NIAH」はユーザーの暮らしに合わせた提案やサポートを行う。花粉やニオイ、ペットの飼育状況など、あらかじめ設定した暮らしの関心ごとや、空気清浄機の運転状況、ユーザーとの対話内容などをもとに、ユーザーの暮らしを理解。



■パナソニック ハウジングソリューションズ、節電効果を高めた温水洗浄便座

・温水洗浄便座の瞬間式PVシリーズ2機種と貯湯式EVXシリーズ3機種を発売。独自の「かしくく節電プラス」を新たに搭載し、暖房便座の使用を従来の1時間単位から15分単位で学習し、効率的な節電を実現。PVシリーズで最大約38%、EVXシリーズで最大約36%節電。

